

『これからの5年を考える』

中郷地区社会福祉協議会 会長 稲元 光明

「地域づくりは人づくり」を念頭に、様々な機関の協力を得ながら、御近所同士での助け合い活動を推進し、「子供から高齢者まで、誰もが笑顔で気軽に集うことのできる身近な場所が沢山ある」そんな地区にしていきたいと思ひます。

中郷地区社協 これからも続けていきたい活動

お元気じゃひか？なかんごう♪

どのような時でも地域のつながりを絶やさないように、敬老の日にあわせて子どもから高齢者へ絵手紙を送っています。

絵手紙作成を小学生から中学生にまで広げ、高齢者から子どもたちへのお礼の手紙作成など、さらなるつながりの発展を目指します。



子育てサロンなかん GO!!

毎月第4土曜日に、地域の子育て支援を目的に、小学生までの子どもの居場所づくりとその親を含めた交流の場として開催しています。令和2年度はコロナ禍で活動を自粛しましたが、令和3年度からは、地域の様々な施設と協働したプログラムを検討するなど、地域共生社会への取組にも努めます。



※令和元年の活動の様子

見守りネットワーク構築訓練

毎年、徘徊者捜索訓練やひとり暮らし高齢者宅の把握などを自治公民館単位で実施しています。

今後も、高齢になっても安心して暮らし続けることができる中郷を目指して多くの団体と協働しながら取り組んでいきます。



金御岳スクール (子どもの学習支援事業)

小学校3年生を対象に、居場所づくりとして夏休みと冬休みに開催しています。

今後も地域ボランティアと中学生ボランティアの力を借りながら、楽しい時間を提供していきます。



中郷地区スローガン

㊦ さえ合う心で ㊩ あわせの絆を育む  
なかんごうひろ㊨

【基礎情報】(R2.5.1)

人口規模 (住基人口)	全 体	8,603 人	世帯数	4,159 世帯
	男 性	4,074 人	自治公民館加入世帯	2,590 世帯
	女 性	4,529 人	自治公民館加入率	62.3 %

【中郷地区の現状・課題】計画策定作業と「地域福祉に関するアンケート調査」結果より

- 事業運営スタッフの高齢化
- リーダーとなる人材の不足
- 個別ケースへの支援の在り方
- 地区にスーパーマーケットがなく買い物が不便
- 子育て世代との接点がない
- 高齢を原因とした問題（公民館脱退、移動手段、ゴミ出し、庭木の管理等）
- 若い世代の公民館未加入問題
- 地域住民が参加し、意見を交換する場がない
- 住民が集う場所がない
- 互助意識の欠乏
- ゴミ出しのルールが守られていない
- ゴミ屋敷問題
- 住民同士でのあいさつが少なくなった
- 社協活動の情報発信の在り方
- 空き家の増加
- 様々な情報が地域住民に行き渡らない
- 困りごとをどこに相談してよいかわからない
- 新型コロナウイルス感染に対する住民の不安が拭えない
- コロナ禍の外出自粛で困っている人や地域が見えない
- コロナ禍で住民も支援者も皆気分が沈んでしまっている

# 中郷地区地域福祉活動計画

(計画実施期間・令和3年度～令和7年度)

計画スローガン (大項目)

㊦ さえ合う心で ㊧ あわせの絆を育む なかんごうひろ ㊨

中項目	小項目	具体的な取り組み内容
1 小地域 (自治公民館単位) での福祉活動の充実と関係機関団体との連携協働できる地域づくりを目指します (地域づくり)	1-①これまで取り組んできた事業をさらに充実させていきます	継続)・中郷地区ふれあいふくしまつり 継続)・生活支援コーディネーターの活動支援 継続)・子どもの生活・学習支援 継続)・役員研修の実施や各種研修への参加 継続)・男前料理教室
	1-②誰もが安心して暮らし続けることのできる地域を目指します	新規)・様々な機関と協働したあいさつ運動の展開 新規)・有志による助け合い活動の支援 継続)・見守りネットワーク構築訓練 継続)・認知症に関する学習会・研修会 継続)・在宅介護者の集い
2 多くの人に参加し、新たなつながりが生まれる仕組みを構築します (人づくり・つながりづくり)	2-①世代間交流を促進します	新規)・空き家や空き店舗を活用した寄り合い所の創設 継続)・いきいきサロン活動 (いたっみろかい) への助成 継続)・「お元気じゃひか?なかんごうひろ」を通して、高齢者と子どものつながりの機会を創設 継続)・他団体と協働できる「子育てサロンなかんGO!!」のプログラム開発
	2-②新たな人材の発掘と育成を行います	新規)・壮年部や退職した人材との繋がり構築 継続)・まちづくり協議会との協働 継続)・中学校ボランティアの育成と活動支援 継続)・生活援助員の養成
3 様々な関係機関・団体が協議できる場づくりに取り組みます (協議の場づくり)	3-①地区内の関係機関・団体等の連携を図ります	継続)・福祉施設等との意見交換会 (年1回)
4 全ての地域住民が地区社協を身近に感じること (しくみ・体制づくり)	4-①広報PR活動を強化します	新規)・事務局開設チラシの作成 継続)・広報紙の発行 (年2回)